

科目区分	専門分野Ⅱ	科目名	子どもの成長・発達に応じた看護		
開講時間	2年次	単位・時間	1単位・30時間	講師名	看護師
学習目標	1. 母子保健、小児保健のあり方について理解する。 2. 小児の発達段階に応じた世話と健康増進のための看護を理解する。				
授業の内容と方法	回	授業内容			授業形態
	1	1. 妊娠期における看護 1) 妊娠の生理			講義
	2	小児の特徴と成長・発達 1) 成長・発達とは 2) 成長・発達の進み方 3) 成長・発達の評価 4) 成長・発達に影響する因子 小児の機能的発達 1) 反射 2) 運動 3) 言語 4) 視力・聴力			講義
	3	小児の心理社会的発達 1) 認知・思考・情緒・自己概念 2) 社会性 3) 基本的生活習慣			講義
	4	小児の成長・発達 1. 新生児期における成長・発達に応じた看護 1) 身体的・精神的・社会的な成長発達の特徴と看護 2) 健康障害・育児支援			講義
	5	2. 乳児期における成長・発達に応じた看護 1) 身体的・精神的・社会的な成長発達の特徴と看護 2) 健康障害・事故防止・育児支援			講義
	6	2. 幼児期における成長・発達に応じた看護 1) 身体的・精神的・社会的な成長発達の特徴と看護 2) 遊び・生活習慣獲得への支援			講義
	7	3. 学童期における成長・発達に応じた看護 1) 身体的・精神的・社会的な成長発達の特徴と看護 2) 学校生活とセルフケアの発達			講義
	8	3. 産褥期における看護 1) 褥婦の経過			講義
	9	発達段階に応じた看護			講義
	10	1. 健康問題・障害をもつ新生児期・乳児期の看護			
	11	2. 入院・療養生活における支援			
	12	発達段階に応じた看護 1. 健康問題・障害をもつ幼児期の看護 2. 入院・療養生活における支援			講義
	13	発達段階に応じた看護 1. 健康問題・障害をもつ学童期の看護 2. 入院・療養生活における支援			講義
	14	発達段階に応じた看護 1. 健康問題・障害をもつ思春期の看護 2. 入院・療養生活における支援			講義
15	終講試験				
評価方法	筆記試験 100%				
テキスト	新体系看護学全書 小児看護学①小児看護学概論/小児保健<メヂカルフレンド社> 新体系看護学全書 小児看護学②健康障害をもつ小児の看護<メヂカルフレンド社>				
参考文献					
自己学習時間	15時間	事前・事後学習	既習したことを各自復習してから授業に臨む テキストと配布された資料を熟読すること		

科目区分	専門分野Ⅱ	科目名	健康障害のある子どもの看護		
開講時間	2年次	単位・時間	1単位・30時間	講師名	看護師
学習目標	1. 健康障害が小児と家族に及ぼす影響を理解する。 2. 健康障害により様々な状況にある小児と家族に対する看護の方法を理解する。				
授業の内容と方法	回	授業内容			授業形態
	1	1. 妊娠期における看護 1) 妊娠の生理			講義
	2	2) 健康問題・障害の受容と入院適応に向けての看護			講義
	3	3) 快適な病院環境に向けての看護			講義
	4	小児に見られる主な症状と看護 1) 小児にみられる症状の特徴 2) 小児にみられる主な症状と看護①			講義
	5	2) 小児にみられる主な症状と看護②			グループワーク
	6	2) 小児にみられる主な症状と看護③			講義
	7	健康問題・障害および入院が 小児と家族に及ぼす影響と看護 小児にみられる主な症状と看護  まとめ・振り返り			講義
	8	3. 産褥期における看護 1) 褥婦の経過			講義
	9	2) 救急処置を受ける小児と家族			講義
	10	3) 活動制限・感染予防・手術を必要とする小児と家族			講義
	11	4) 先天性疾患・障害をもつ小児と家族			講義
	12	5) 在宅で療養している小児と家族			講義
	13	6) 虐待が疑われる小児と家族 災害発生時の対応			講義
	14	7) 成人移行期過程にある小児と家族			講義
15	終講試験				
評価方法	筆記試験100%				
テキスト	新体系看護学全書 小児看護学②健康障害をもつ小児の看護《メヂカルフレンド社》				
参考文献					
自己学習時間	15時間	事前・事後学習	既習したことを各自復習してから授業に臨む テキストと配布された資料を熟読すること		

\* この科目は実務経験のある教員による授業科目です。

科目区分	専門分野Ⅱ	科目名	小児看護学演習		
開講時間	2年次	単位・時間	1単位・30時間	講師名	専任講師
学習目標	1. 小児期の事例を通して、特徴を踏まえた看護過程が展開できる。 2. 小児に対する基本的な援助技術を習得できる。				
授業の内容と方法	回	授業内容			授業形態
	1	1. 妊娠期における看護 1) 妊娠の生理			講義
	2	4. 小児看護に特有な基本的技術と看護			講義
	3	5. 小児看護に特有な基本的技術と看護			講義 演習
	4	6. プレパレーションを取り入れた看護技術の実際 1) 事例の模擬患児を対象とした看護技術			演習
	5	7. 小児に特有な紙上事例に基づいた看護過程の展開 1) 事例：川崎病・熱性けいれん・気管支喘息など1事例			講義
	6	2) アセスメント			講義
	7	3) 全体像 4) 看護診断			演習
	8	3. 産褥期における看護 1) 褥婦の経過			演習
	9	8. 小児のフィジカルアセスメント 1) 援助の実際			演習
	10	9. 小児に特有な紙上事例に基づいた看護過程の展開 1) 事例：重症心身障害児 2) アセスメント 3) 全体像			講義 演習
	11	4) 看護診断 5) 看護計画			講義 演習
	12	10. 健康な小児への健康教育 1) 体のしくみ 2) 子どもの生活に結び付けたプログラムを企画			講義 演習
	13	3) 健康教育を考える			演習
	14	4) 発表 5) まとめ			演習
15	筆記試験（45分）				
評価方法	筆記試験50% 提出物50%				
テキスト	新体系看護学全書 小児看護学①小児看護学概論 小児保健《メヂカルフレンド社》 新体系看護学全書 小児看護学②健康障害をもつ小児の看護《メヂカルフレンド社》				
参考文献	発達段階を考えたアセスメントに基づく小児看護過程《医歯薬出版株式会社》 看護診断ハンドブック《医学書院》 根拠と事故防止からみた 小児看護技術《医学書院》 発達段階からみた 小児看護過程《医学書院》 病気の子どもへのプレパレーション《中央法規》 写真でわかる 小児看護技術《インターメディカ》 聖路加看護大学からだ教育研究会 わたしのからだ				
自己学習時間	15時間	事前・事後学習	各期の成長・発達段階を復習する 各期の解剖生理的特徴を復習する		